

# '2013年度 上流域(六倉・神沢河原)播種、神川橋下近況報告

'13年3月21日(木)～4月6日(土)  
相模川湘南地域協議会 記録:中門吉松

相模川上流域の六倉・神沢河原のカワラノギク播種が、さがみはら地域協議会主催で実施された。3/29(金)六倉(8名)、4/5(金)神沢河原(8名)さがみはら地域協議会では、六倉の”ススキや野バラなどの草木”が覆い茂った手つかずの河原を刈り払い機で連日に渡って整備した。

## 【六倉河原での播種】



新たに草木が刈り取られた広大な河原  
夏場の草刈りが大変・・・草刈り隊募集中



播種準備する"さがみはら地域協議会"の皆さん



基本的に忠実に玉石の間に播種しています



玉石を持ち上げて下に播種して玉石を戻す



風に吹かれて飛んだ種のように散布します  
(翌日に雨が降ったので地面に辿り着いた?)



ロゼットは周りの雑草より遅く見えます  
早くも根元には発芽したばかりの実生が多数

## 【神沢河原での播種】

神沢河原では、昨年(2回)洪水で流された丸石河原の上流側に石を積み上げ堤を設置。下流のカワラノギクを守る対策が実施されていた。丸石に覆われ、洪水の度に大きく変化する河原のカワラノギクはどれもしっかりと丸石の下に根を張っている。(これが本来のカワラノギクの姿?)



丸石に覆われた神沢河原・・・洪水の度に  
右手にうず高く石が盛られ下流を守る



袋の中に種を入れ、土砂(シャベル14杯程度)  
水を注ぎ掻き混ぜて発芽し易くする



丸石の隙間を狙って河原一面に散布する人  
座って丸石の隙間に念入りに入れる人・・・様々



洪水に負けず残ったロゼットは丸石の下に毛根を  
伸ばし、しっかりと身を守っている



丸石の間から太陽に向かい  
青々と成長開始



神沢河原圃場で保全する”カワラナデシコ、カワラサイコ”  
(カワラサイコは、故川又猛さんが植えられた)



## 【相模川神川橋下河原の近況】

気温の上昇と共にロゼットが元気に成長を始めたが、今年は第2圃場の方が多くのロゼットが残り圃場全体にバランス良く広がっている。風で自然落下した種からも僅かながら発芽した実生が見られ、圃場内・河原では”シナダレスズメガヤ”の新芽が目立ってきた。

・・・”シナダレスズメガヤ除去作戦”で早めの抜き取りを予定しています。



第2圃場－(1)  
一面にバランス良く広がるロゼット



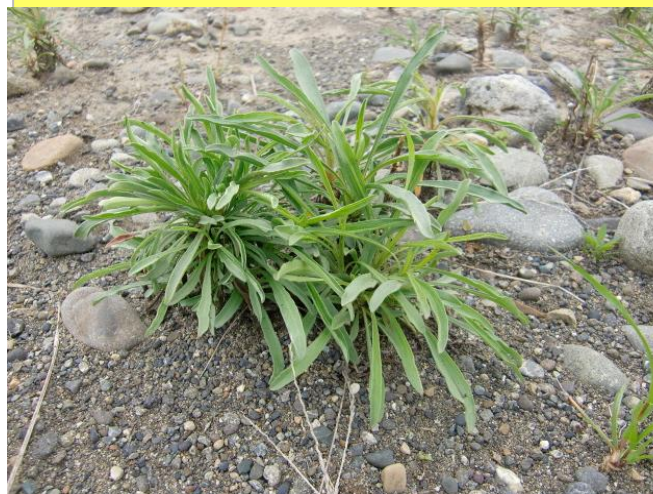
第2圃場－(2)  
ロゼットも遅しく成長開始



第2圃場－(3)  
発芽した実生とシナダレ幼苗



第1圃場－(1)  
玉石の残った高い所に多く、低い砂地は少ない



第1圃場－(2)  
砂地側は成長は早いようだ！



新たな圃場造成が欲しいですね  
今年は玉石河原への播種も実験予定